

Q 高齢の父ですが、視覚が低下して日常生活に支障をきたしています。ロービジョンケアについて詳しく教えてください。

A ロービジョンは、世界保健機関で「両眼に矯正メガネを装着した視力が0.05以上0.3未満」と定義されています。原因としては、緑内障、糖尿病網膜症、加齢黄斑変性、網膜色素変性症などさまざまな疾患があり、病気の種類によって全体のほやけ、視野の狭窄(きょうさく)、中心部の視力障害など異なった障害が起こります。ロービジョンケアでは、眼

科医や看護師、視能訓練士、視覚障害者生活訓練指導員(歩行訓練士)など、さまざまな専門家が連携することによって視覚障害を持つ方を全人的にサポートしています。まずその方の保有の視覚を眼科的に評価し、それに合った拡大鏡、単眼鏡、拡

大読書器やまぶしさを軽減させる遮光眼鏡などの補助具を選定し使い方の訓練をします。また各福祉サービスに対する相談や、日常生活訓練、歩行訓練への紹介なども行います。眼科以外でも視覚障害者向け機器展示室ルミエールサロンなど便利グッズを取

り扱っている所がありますので、見えづらくてお困りの方は決してあきらめないで、最寄りの眼科や市町村役場に相談されてはいかがでしょうか。



町田病院 星 最智さん

Q 糖尿病、高血圧で治療中ですが、検診であらたに脂肪肝と肝機能異常が見つかりました。いまのところ特に症状はないのですが治療は必要でしょうか。

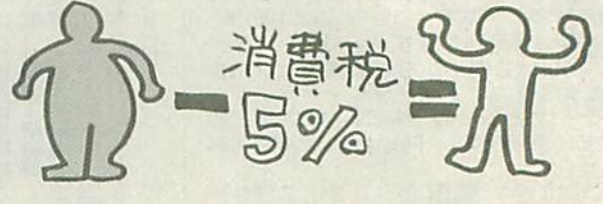
A 日本も今や飽食の時代となり、検診で脂肪肝と診断される割合は10〜30%と言われています。以前は脂肪肝は良性の病気と考えられていましたが、現在では放置すると進行し肝硬変、肝がんに至るケースがあることが分かっています。脂肪肝の原因としては、肥満、糖尿病、アルコール、高脂血症、薬剤などがあげられます。患者さんの多くは肥満を伴って

り、ダイエット(まずは体重の5%を目標に)が大変有効なのですが、困難な例も多く、しばしば薬による治療も行われます。ダイエットせずに劇的に脂肪肝自体を改善させる薬はありませんが、従来の肝臓の薬以外に一部の糖尿病や高血圧の薬、あるいはビタミンEの薬などが脂肪肝に伴う肝機能異常の改善に有用なことが報告されています。糖尿病、高血圧などの合併症のある脂肪肝

の方は、専門医と相談の上、そういった薬を選択することをお勧めします。

さんは、専門医と相談の上、そういった薬を選択することをお勧めします。

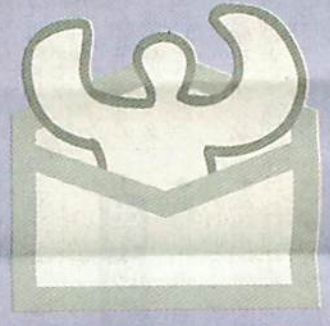
さんさんクリニック 副院長 秋澤 直明さん



川村育子の 新春 インタビュー

ここが知りたい **Q** & **A**

健康の **連絡便**



家族の健康に役立てたい暮らしの知識の常備薬

あけましておめでとうございます。
今年もたくさんのご質問、お悩みにお答えしてまいります。

あなたのご質問、お悩みをお寄せください。

〒780-8572 高知市本町三丁目2-15

高知新聞社広告局「健康の連絡便」係

インタビューー
川村育子
(高知放送パーソナリティー)



企画・制作 / 高知新聞社広告局